

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	事業地の障害児が車椅子で自由に移動できることによって、治療を受けやすく、日常生活が改善されて、将来独立自立するための素地を育成助長することが出来る。
(2) 事業の必要性(背景)	<p>ベトナムではベトナム戦争に使われた枯葉剤等の影響で、障害者が多く、厚生省の推定では人口の7%が約6百万人が障害者で、UNICEFによれば3人の内1人は身体的、精神的、知的障害者であるとされ、12%の障害児だけが車椅子を持っており、現在必要な数は数百万台。障害児用車椅子は都市部の病院や養護施設には多少あるが、充足されていない。地方の貧困家庭では入手できず、障害児は置き去りにされて悲惨な状態である。</p> <p>今回はベトナム北部のサリドマイド児が多く、山間部の貧しい地域の2つの省の赤十字支部に供与する。</p> <p>現地では子ども用車椅子を入手することは難しく、高価であり、日本から中古品(新品は20万円以上)を輸送した方がはるかに安く供与できる。今回は150台の供与する計画で償却後一台10万円としても1,500万円相当である。</p>
(3) 事業内容	<p>(イ) 車椅子の収集調達先： 首都圏にある特別支援学校 (ロ) 車椅子の洗浄、補修等の整備、梱包：ボランティアによる活動 (ハ) 車椅子の輸送手配 (活動拠点福生市から海外供与先へ届くまで) コンテナ積、海上輸送、現地陸上輸送の手配</p> <p>(ニ) 引き渡し式 (ホ) 現地受益者団体視察、維持管理の確認</p> <p>配布先及び台数： タイグエン省赤十字支部 80台 ホアビン省赤十字支部へ 70台 計 150台 配布先：赤十字傘下の障害児と養護センター(添付)</p>
(4) 持続発展性	<p>各赤十字支部は各受益者団体の責任者に対して、専門家(物理療養士、小児科医師)の指導で、車椅子に適合した子どもに供与する。子どもが成長し適合しなくなったら次の子どもに渡すことができる維持管理体制をつくる指導を行う。</p> <p>また車椅子が長期的に使用できるように 破損や故障で不具合になったら、当会は赤十字の要請で補修修理のために必要な部品を無償で提供する。</p> <p>故障修理が必要な場合は車椅子には管理番号のステッカーを貼付しているので、ベトナム赤十字協会が当会に直接メールで連絡すれば該当する必要部品送る。(覚書に明記)</p> <p>車いすが緊急に必要な障害児が多く、全く充足されていないので、今</p>

	後も継続的な供与して多くの障害児の福祉向上の発展に寄与する。
(5) 期待される効果 (裨益者数を含む)	<p>障害児が車椅子を入手することで、自由に動け、外気や紫外線にふれて肉体的精神的な健康維持が出来、更に在位を保たれて骨や筋肉の発達を助ける。また座って容易に食べたり、飲んだり出来る。そして背負ったり、抱かずに治療のために容易に病院やリハビリセンターに行けるようになる。</p> <p>子どもの成長で小さくなった車椅子を次の必要な障害児に渡してリサイクルをする事によって、裨益者数は2倍の300人になる。</p>